

会 議 録(要 約)

日 時	平成30年3月19日(月) 午後1時30分から	
会 議 名	南関町庁舎等建設委員会議(第8回)	
出 席 者 職・氏名	委員・南関町	別紙委員名簿のとおり
場 所	南関町役場 第1会議室	
<p>(内 容)</p> <p>次第 1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 議事</p> <p>(1)「議場について」</p> <p>前回までの経緯として、プロポーザル段階では梁を抜いて天井高さを上げる提案をしていましたが、設計が始まり、詳細な構造図面や資料を確認する中で、梁が抜けなことがわかったため、梁を残したまま、なるべく天井高さが高くなるような意匠案を説明。</p> <p>→真ん中の梁はむき出しで、両脇の梁は間接照明はおかないのか。</p> <p>事務局→高く見せるために間接照明を入れています。照明器具が入るかどうかも検討中です。天井を光らせて高く見せます。しかし、机上の照度が足りないかもしれません。その場合、上から下に落ちる照明の設置が必要になるかもしれませんが、そのおさまりは実施設計で検討します。</p> <p>→間接照明ではなく、逆に天井に埋込型照明を設置するのではコストはどちらが高いか。また、わざと梁を見せるなどの方法はあると思う。</p> <p>事務局→ まず、コストはあまり変わりません。また、ブラケット照明(柱につけて天井を照らす)などの方法もあります。</p> <p>→比較表を作成する際、既存議場の資料(図やイメージ)があるとわかりやすいが、そのあたりは簡単にできるか。</p> <p>事務局→ 既存との比較については、比較表の項目で既存と比較した評価としています。時間を確保させていただいた上で、後日作成します。(議会説明資料として提示予定)</p> <p>→前は屋根を外すA案を考えていたが、今回は天井高さを確保するため、良く努力してある。我々も町民へ説明する必要がある、C'案で了解した。</p> <p>→テレビで傍聴する設備もつくっていると聞いているが、今の段階で詳細はわかるか。また、モニターなどに映した時、天井から下がるカメラはどこにつくか。</p> <p>事務局→設備機器自体は小さいため、気にならないと考えます。また、モニターは画面を映し、投票のカウントなどができるモニターとなり、スピーカーは天井吊りになりますが、あまり大きくないため、圧迫感が出るなどの心配はないと考えています。カメラは2~3か所だと想定しています。発言されている議員の方に向かって撮るようになる予定です。</p> <p>委員長→設備がぶら下がっても圧迫感がないよう気を付けてといった意見でした。設計者の方でもできるだけ、天井高さが高くなるよう配慮をした設計としてください。</p> <p>→音響的には梁があって、影響があるのか。音は反射はいらないのか。吸収だけで良いか。</p> <p>事務局→音響的には影響があるかもしれないため、壁に吸音材をつかった仕様とする。また、吸収だけで良いです。</p>		

→発言台や傍聴席等の配席が変更されているが、前回案の時は発言台と天井がかぶさっていた。今回C'案では位置関係をずらし、圧迫感をなくすためか。

事務局→そのとおりです。当初は議員さん側、執行部側に用意していました。打合せの段階で、既存に合わせた配置に変更をしております。車いす席は入ってスロープを上ることなく、入れるように変更しています。

→高さ以外の横方向、椅子の間隔は既存とどう変わるか。

事務局→既存の議場より縦2m程度長くなり、全体面積も大きくなります。

→本計画は既存の学校改修となる。あまり議場に時間をさいても他のレイアウトもしてもらわないといけない。全体を進めるようにお願いしたい。それぞれの町や議員の考え方により議場の配席が変わる。レイアウトは後で変えることが出来るため、今の段階ではこれで進めてもらってもよい。

委員長→委員会からのまとめとしては、天井高さを意識したデザインを重視しつつ、コストに配慮した計画としてくださいということです。

【2 外構 芝・人口芝比較について】

→アスファルトのカラー舗装とかもあるが、人工芝も同じようなコストがかかる。1億円かかるならば、他の委員も意見がでるのではないか。また、場所の性格やしきみ、目的に合わせて、使い方を分けた方がよいのではないか

委員長→委員会として、場所それぞれに合わせて、使い方を決定することで合意。

【3 外構 デッキ材比較について】

→デッキ材樹脂製は下地もアルミ材となっていて、雨にぬれても劣化はない。竹や木材は10年もたてばボロボロになる。樹脂製もひび割れが出る可能性がある。雨に濡れるところでは樹脂製がよいが、濡れないところには竹材を使って欲しい。

委員長→委員会としても場所を考慮し、そこに合わせた材料を使うということで合意。

→竹材デッキの価格としては、この値段なのか。

事務局→まだ商品化してないため、企業から言われている価格となっています。

委員長→雨がかかる場所を考慮して、積極的に南関の産業を振興していただく観点で、デッキ材も検討していただきたい。

【4 断面計画について】

→日射遮蔽について、屋根の本体部分の勾配を延ばせば変わるのではないか。

事務局→木格子壁が3.6m間隔で設置してあります。ある程度格子壁で日射遮蔽はできると考えています。16時半からは日が入ってくるため、ブラインド等で遮蔽します。ガラスはLow-eガラスを想定していて、遮蔽効果があります。

【5 既存棟のコンクリートコア強度試験の結果について】

平成12年に行ったコンクリートコア圧縮試験と比較し、強度自体はあまり変化がなく、強度は落ちていませんでした。ただ、低強度であるため、「既存建物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル」に準拠し、各部材の耐力を低減させ、耐震診断を行い、耐震診断基準を満足させる補強を行います。一番心配していた、平成12年からの劣化はほとんどないことが調査によってわかりました。この建物を使うとだめということではありません。

→有明新報に掲載されていた記事と関連していますか。

事務局→調査した結果、強度は落ちていないことが証明できました。一部分のみ補強をすれば基準を満たすということで、今回工事でその補強を行います。

→有明新報さんはその記事は訂正されるのですか。

事務局→有明新報には誤解を生む記事であるため、強く抗議をしたところです。今後訂正してもらいようをお願いしているところです。

【6 その他】

→土地の譲渡の状況についてはどうか。

事務局→県議会の方で可決されたと町長には電話があったと聞いています。

→ワークショップの報告や知らせ方はどうするか。色々な手段で町民に知らせてほしい。

事務局→ 広報誌やウェブページに掲載することを考えています。

委員長→内藤建築事務所さんは過去他物件でワークショップの報告書等を作成しているため、報告書を委員の皆さんに配布していただければと思います。

事務局→委員会として、今年度はこれで終了です。来年度は必要になった場合、開催します。これからも委員会に議論していただくことが出てくるかあると思いますので、今後もよろしくお願ひします。それではこれで、第8回建設検討委員会を終わります。

閉会

第8回庁舎等建設委員会

日時：平成30年3月19日(月)午後1時30分～

場所：南関町役場第1会議室

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 審議
 - (1) 庁舎等建設基本設計について
 - (2) その他
4. 閉会

南関町庁舎等建設委員会名簿

番号	職名	氏名	備考
1	委員長	西郷 正浩	
2	副委員長	井上 繁孝	
3	委員	境田 敏高	
4	委員	立山 比呂志	
5	委員	花見 洋昭	
6	委員	福山 正英	欠席
7	委員	野田 紀久子	
8	委員	裕村 公正	
9	委員	中村 正雄	
10	委員	北原 浩一郎	
11	委員	西田 由実	
12	委員	下田 眞一郎	
13	委員	雪野 栄二	
14	委員	大里 耕守	
15	委員	大木 義隆	
16	委員	西田 裕幸	
17	委員	島崎 演	
18	委員	北原 宏春	
19	委員	古澤 平	
20	事務局	坂田 浩之	
21	事務局	高木 正臣	
22	事務局	大森 敏和	